

全国 434 件の応募から採択、1 年間の探究実践が高く評価

茨城県立竹園高等学校「竹園探 Q プロジェクト」が
「みらい育成アワード 2026」カテゴリⅠ 準グランプリを受賞

応募総数	全カテゴリ採択	カテゴリⅠ 応募	カテゴリⅠ 採択	受賞
434 件	84 件	180 件	57 件	準グランプリ

茨城県立竹園高等学校は、一般財団法人三菱みらい育成財団が主催する「みらい育成アワード 2026～知見、実践、その想いを分かち合う～」において、**カテゴリⅠ 準グランプリ**を受賞しました。

2025 年度の三菱みらい育成財団助成事業には、全国の高校・大学・教育事業者などから **434 件の応募**があり、そのうち **84 件が採択**されました。高校等による教育実践を対象とする「カテゴリⅠ」には **180 件の応募があり、57 件を採択**。本校の「竹園探 Q プロジェクト～竹のように地域に根ざし、世界へ伸びる学び～」もその一つとして採択され、2025 年度の取組を進めてきました。

そして、2025 年度に新規採択された団体を対象として、2026 年 9 月 26 日（土）に開催された「みらい育成アワード 2026」において、本校の取組が**カテゴリⅠ 準グランプリ**に選出されました。カテゴリⅠでは、北海道札幌南高等学校、広島県立賀茂高等学校がグランプリ、茨城県立竹園高等学校、奈良市立一条高等学校が準グランプリを受賞しています。

「採択」ではなく、その後の実践が評価された受賞

今回の受賞は、助成事業への計画段階での採択だけではなく、**採択後に学校現場で実際に行ってきた探究学習の実践と、その成果が評価されたものです。**

本校では、「総合的な探究の時間」を「探 Q」と呼び、生徒自身が問いを立て、他者との対話や協働を通して考えを深め、学校の外へと学びを広げる取組を進めています。「竹園探 Q プロジェクト」では、探究を一部の生徒だけの特別な活動とするのではなく、日常の学びの中に「問い続けること」を根付かせることを目指してきました。

竹園探 Q プロジェクト～竹のように地域に根ざし、世界へ伸びる学び～

三菱みらい育成財団のカテゴリⅠは、高等学校等が学校現場で実施する「心のエンジンを駆動させるプログラム」を対象としています。2025 年度、本校の「竹園探 Q プロジェクト」は**対象者 637 名、助成額 200 万円**の事業として採択されました。

生徒一人ひとりの「なぜ」「どうして」「やってみたい」を学びの出発点とし、校内での探究活動に加えて、大学・研究機関・企業・地域、さらには国内外の高校等との連携を通して、生徒の問いを社会へとつなげる教育活動を展開しています。

今後に向けて

今回の受賞を一つの到達点ではなく、次の探究への出発点と捉えています。生徒が自ら問いを立て、試行錯誤し、多様な人と関わりながら、その問いをさらに深めていく。竹園高校はこれからも、「問い続けることが日常になる」学校づくりを進めていきます。

参考情報

みらい育成アワード 2026	2026 年 9 月 26 日(土)開催／一般財団法人 三菱みらい育成財団
2025 年度助成事業	応募総数 434 件／採択 84 件
カテゴリー I	応募 180 件／採択 57 件
竹園高校採択事業	竹園探 Q プロジェクト～竹のように地域に根ざし、世界へ伸びる学び～
助成内容	対象者 637 名／助成額 200 万円

【出典】一般財団法人 三菱みらい育成財団 Web サイト(2026 年 10 月 6 日確認)

[みらい育成アワード 2026 開催報告](#) / [2025 年度 採択先決定](#) / [2025 年度 採択結果](#)



図1 表彰者(みらい財団 HP より引用)



図2 竹園高校の表彰



図3 竹園高校 Instagram より